

報道関係者各位

## 7月5日は「江戸切子の日」 記念日の認定のおしらせ

東京カットグラス工業協同組合は、7月5日を「江戸切子の日」として日本記念日協会に申請、認定されました。日付は、江戸切子の典型的な模様「魚子」の読み「ななこ」にちなんだもの。記念日にあわせ、新宿・池袋のイベントで魚子模様の新シリーズ発表。

伝統的工芸品・地域ブランド商標「江戸切子」認定の東京カットグラス工業協同組合(江東区亀戸 理事長:小林淑郎)は、7月5日を「江戸切子の日」として日本記念日協会に申請、認定されました。関連のイベント等も決定しましたので、ここにお知らせします。

### ◆「7月5日は江戸切子の日」

7月5日は、切子の典型的な模様のひとつ「魚子(ななこ)」にちなんだ語呂合わせです。魚子は、魚の卵をモチーフとした金工や織物にも見られる伝統的な和の意匠です。切子では、輝く魚の鱗のように見える。とも言われ、シンプルゆえに職人の技量が試される模様です。技量にかける職人の思い、さらに「ななこ」という言葉の読みやすさ・響き、夏本番の季節を前にして江戸切子の輝きが一服の清涼感となれば。なども合せて、7月5日を選定いたしました。

### ◆新宿・池袋で「魚子模様」の新シリーズを発表

江戸切子の日を記念して、「魚子模様」をテーマとした記念の新シリーズを発表致します。会場は、新宿・タカシマヤ並びに池袋・伝統的工芸品センターでの実演販売です。

- ・新宿タカシマヤ11階 東京の伝統工芸品「技と匠」コーナー 7/2(水)～8(火)
- ・池袋伝統的工芸品センター 「飛躍する東京の伝統工芸展」 7/3(木)～7/8(火)

いずれも東京都中小企業振興公社様の支援を活用したものです。

### ◆「江戸切子の日」を“きっかけ”として

今回、「江戸切子の日」を制定致しましたのは、特に若者層をはじめとして、江戸切子をまずは知って頂く“きっかけ”になればと考えての試みです。

これを契機として、使って頂くお客様、地元下町の皆様、販売窓口の百貨店・食器店様、ご依頼を頂く問屋・メーカー・デザイナー様、ガラス教育を行っている美大・専門学校様、伝統工芸や地域の振興を目指される行政・各種団体様、そして、切子素材を製作頂く江戸硝子の窯元様等、ガラスや江戸切子に関わる皆様とも、新たな試みを進めていければとも考えております。

### [本リリースに関するお問い合わせ]

東京カットグラス工業協同組合

〒136-0071 東京都江東区亀戸2-9-6-101

TEL 03-3681-0961

FAX 03-3681-1422

H P 江戸切子公式サイト <http://www.edokiriko.or.jp/>

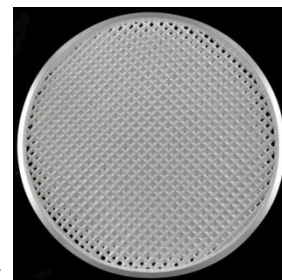
**[関連資料]**

魚子(ななこ)模様と、その商品例

**◆ 模様**



正確な交差で表す繊細な模様



**◆ 記念の新商品**



江戸切子 魚子模様 半酒器揃 クリスタルガラス製 ルリ色被せ  
ぐいのみ 63φ×H48 徳利 82φ×H124

**◆ 東京カットグラス工業協同組合 現行カタログ 魚子模様入商品例**



江戸切子 高台盃 クリスタルガラス製

S-125 金赤被せ(\*1) サイズ 75φ×H50 定価 ¥16,275

\*1 金赤・・・色ガラスの発色に金を用いたもの。鮮やかなピンク色となる。